

マタイによる福音書 3章 1～12 節

そのころ、洗礼者ヨハネが現れて、ユダヤの荒れ野で宣べ伝え、
「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言った。

これは預言者イザヤによってこう言われている人である。

「荒れ野で叫ぶ者の声がする。

『主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ。』」

ヨハネは、らくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、
いなごと野蜜を食べ物としていた。

そこで、エルサレムとユダヤ全土から、

また、ヨルダン川沿いの地方一帯から、

人々がヨハネのもとに来て、罪を告白し、

ヨルダン川で彼から洗礼を受けた。

ヨハネは、ファリサイ派やサドカイ派の人々が大勢、

洗礼を受けに来たのを見て、こう言った。

「虻の子らよ、差し迫った神の怒りを免れると、だれが教えたのか。
悔い改めにふさわしい実を結べ。

『我々の父はアブラハムだ』などと思ってもみるな。

言っておくが、神はこんな石からでも、

アブラハムの子たちを造り出すことがおできになる。

斧は既に木の根元に置かれている。

良い実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれる。

わたしは、悔い改めに導くために、あなたたちに水で洗礼を授けているが、
わたしの後から来る方は、わたしよりも優れておられる。

わたしは、その履物をお脱がせする値打ちもない。

その方は、聖霊と火であなたたちに洗礼をお授けになる。

そして、手に箕を持って、脱穀場を隅々まできれいにし、

麦を集めて倉に入れ、殻を消えることのない火で焼き払われる。